

鹿児島流

# 熱いハートの医師 育てます



おはら祭り 写真提供: 公益社団法人 鹿児島県観光連盟

## 私の臨床研修医時代

公益社団法人昭和会  
いまきいれ総合病院  
副院長

いわ かわ じゅん  
岩川 純

出身校 神奈川県 厚木高等学校 ▶ 鹿児島大学

私は1995年鹿児島大学医学部を卒業、旧第3内科に入局し、初期研修は鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、沖縄県立中部病院をローテートしました。初期研修でも様々な症例を経験できましたが内科医としての本当の基礎となったのは3年目から2年間赴任した県立北薩病院です。呼吸器内科後期研修勤務でしたが呼吸器疾患以外にも多くの症例の診療をさせていただきました。検査日も作っていただいて上部消化管内視鏡、消化管造影検査を消化器内科、腹部エコーは肝臓内科の先生のご指導をうけながら診療にあたりました。もちろん呼吸器疾患は当時の部長にみっちり鍛えていただきました。気管支鏡を一からご教示いただき、検査時間や患者さんの苦痛をとるためにいかに早く正確な検査を行うかの重要性は今でも肝に銘じています。北薩病院後、すぐに長崎大学第2内科感染症グループに国内留学をしましたが気管支鏡検査や外来診療などすぐに任せていただいたのは北薩病院の経験のお陰でした。

学生、研修医の皆さん、鹿児島市内・市外の医療機関でも学びの機会は常にあります。皆さんの医師人生が充実したものとなることを祈念いたします。



出身地 鹿児島県

## 指導医の思い出



出身地 始良市

みぞた みちよ  
**溝田 美智代**

出身校 加治木高校▶琉球大学

勤務先▶今村総合病院

私にとっての指導医は大学に入局したときの指導医、2年目で出張した病院の指導医そして専門とする内分泌の指導医に分かれます。小児科は内科と同じように全ての分野に専門があるため、大学での指導医からは医者としての基本、カルテの記載、指示の出し方、採血などの手技、患児との接し方を学びました。痛いことをしても子ども達に慕われる先生方がまぶしく見えたのを思い出します。出張病院では患者さんと向き合う姿勢、考え方といった診療の基本とスタッフとの関わり方を学びました。逆に指導医の立場になると、わからないことを聞いてくれるのが一番有り難い。なので困ったときは躊躇せず是非相談して下さい。医者は自分で考え、指示を出す立場にあります。研修医といっても一人の医師です。理想の医師像を見つけ、そこに向かってまっすぐ進んで欲しいと思います。



出身地 鹿児島市

たなか ひでき  
**田中 秀樹**

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

勤務先▶独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター

私の2年間の研修は離島を含む僻地での勤務が多く、今のような系統だった研修ではなかった印象です。研修医時代に強烈に印象に残った思い出ですが、負の思い出になります。①消化器科研修中に精神疾患を併発していた消化器慢性疾患の担当患者が予告自殺したこと②入院患者さんの帰省中のお孫さんが薬物中毒状態で看護師詰め所にいきなり入り込んで、私の隣りでカルテ記載していた医師に飛びついて殴りかかって、詰め所が騒然となって警察が介入したこと（私も応戦）③飲酒後の口論でお互い刃物で裂傷を負った双方の患者が、ほぼ同時に救急外来に搬入。それぞれに緊急対応したが、私と警察官が目を離したときに再び救急室内で取っ組み合いの喧嘩がはじまり、救急外来が血まみれになったことの3つです。まだ色々ありますが、平成初期の頃でしたので珍事件が多かったです。綺麗ごとではない負の思い出も多かったですが、今の私の臨床医としての素地形成の大きな土台になっています。皆さんもどのような臨床経験もその瞬間その瞬間を精一杯味わい尽くしていただきたいと思います。



出身地 鹿児島市

すえなが かつし  
**末永 勝士**

出身校 鶴丸高校▶自治医科大学

勤務先▶鹿児島県立北薩病院

大学卒業後は鹿児島県内の離島診療を含めた地域医療に従事する必要があり、4年目以降に一人診療所等での勤務を予定していたため、様々な疾患および年齢層の患者に対応できる臨床能力を身につけるために、鹿児島県立大島病院で研修をしました。当初、研修医も少なかったこともあり、各診療科を回りつつも、時間がある限り適宜他科の診療にも参加させて頂き、多くの貴重な経験をさせて頂きました。その中で、指導医の先生方の診断から治療に至るまでの思考過程や患者への接遇等学び、現在の私の診療の糧になっています。

現在は若手医師へ指導する立場として、専門性も求められる時代ではありますが、全人的な医療を提供できるような医療者への手助けをしていきたいと思っています。



出身地 阿久根市

まみつか かつろう  
**馬見塚 勝郎**

出身校 鹿児島玉龍高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島市医師会病院

今は緩和医療に転向していますが、30数年前に医学部を卒業したての頃はマイクロサージャリーに憧れていたので顕微鏡手術をする脳神経外科に入局しました。

専門医を筆頭に5人くらいのチームで日々の診療に当たっていました。新米の頃は顕微鏡手術はさせてもらえず、水頭症の脳室-腹腔シャント術や慢性硬膜下手術の基本を教えてもらいました。指導医から頭皮を切る時のメスの持ち方、止血の仕方、穿頭術のドリルの持ち方、血管造影検査のカテーテルの扱い方、臨床解剖などを一対一で習いました。

和気藹々とした雰囲気、大学病院の1Fにある「和み」という食堂があり、昼になると「そろそろ和みましょかね」を合い言葉に昼食も一緒に食べに行くものでした。外科独特の手術も一緒、食事と一緒にという中でお互いの気心がしれて良い時代だったと思います。



# 研修医の声



出身地 宮崎県

いわもと あきら

**岩本 晃**

出身校 志學館高等部▶福岡大学

研修先▶徳洲会大隅鹿屋病院

人より何倍も時間をかけて医師になり大分遅いスタートを切ったので、知識が技術が身に馴染み難く大変な思いをしながら必死に経験を積ませていただいております。時折めげそうにもなりますがしかし研修先の非常に温かな支援に助けられてやっていけています。今は唯々先輩方から知識を技術を心を受け取るばかりの身なのですが、いつかは自分もまた渡す側になりたいと思日々精進しています。



出身地 宮崎県

おく たつや

**奥 達也**

出身校 宮崎県立宮崎西高等学校▶鹿児島大学

研修先▶鹿児島市立病院

初期研修医としての新しい生活が始まり、早いもので5ヶ月が経過しました。最初は何も分からず右往左往するばかりでしたが、少しずつ仕事を覚えていき、新しい生活にも慣れてきたように感じます。これも、指導してくださる多くの先生方と、2年目の先輩方、そして仲のよい同期に支えられているからだと思います。

研修医になってからは、学びの場が多くあり、毎日新しい学びがあります。内視鏡やカテーテル治療では、先生方からの指導を受けながらチームの一員として参加したり、エコーは検査技師の方から指導を受けることができます。鹿児島市立病院は、分からないことを先生方からしっかりと指導していただける素晴らしい環境だと思います。

まだまだ、医師としては未熟ではありますが、少しずつ経験を積んで、立派な医師になれるよう日々努力していこうと思います。



出身地 霧島市

むらかみ ゆういち

**村上 祐一**

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

研修先▶鹿児島大学病院

私は鹿児島大学病院で研修をはじめ、早くも一年半が経とうとしています。初めのころは電子カルテの使い方すらわからず苦労しましたが、様々な経験を経て大きく成長できたと実感しています。大学病院では、入院患者が多いため非常に多くの症例を経験することができました。そのすべての治療に携わることはできませんが、カルテを見てカンファに参加することで治療方針を決定するまでの流れを学ぶことができました。また、学会に参加させてもらう機会もあり一つの疾患についてじっくりと勉強させてもらうこともありました。学会での発表はとても緊張しましたが非常にいい経験になったと思っています。

自分はまだまだ未熟で、わからないことも多く将来を不安に思うこともありますが、今後も日々精進し少しずつ医師としてスキルアップしていくため努力していこうと思います。



出身地 鹿児島市

ひだか たいが

**日高 大雅**

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

研修先▶霧島市立医師会医療センター

研修医となってから数ヶ月が経ちましたが、時間が過ぎる早さを感じています。初めはカルテの使い方も分からない状態でしたが、気さくに教えてくださる指導医や研修二年目の先生方、同期に助けられながら、少しずつ自分のサイクルを作ることができています。

研修医への教育意識が強いこともあって、指導医との症例や病態についての議論や他科の先生を交えた研修医勉強会を行ったりしています。特に救急科の先生による講義では、手技や現場での考え方を知ることができます。当直などで即実践することができ、その反省点を指摘してもらうことで、少しずつ成長していることを実感しています。

このように自分の無力さを痛感することが多いですが、恵まれた環境で研修する機会を得られたことに感謝しながら、同期と切磋琢磨しつつ、今後の医師としての基盤を作っていきたいと思います。

ト

TOPICS

ピ ッ ク ス



## 病院見学のサポートや相談セミナーなど随時受け付け中！

当協議会では、県外医学生の病院見学をサポートする「ずんばい回ろう！病院見学アシスト！」を通年で行っています！皆さまの希望をもとに、協議会事務局が見学希望先との日程調整等を行いますので、皆さんが病院一つ一つに申し込みを行う手間が無くなり、試験や実習に集中することが出来ます！旅費の補助もありますので、是非ご利用ください！

また、皆さまの要望に可能な限りお応えして、指導医や研修医との交流の場をセッティングする「よろず相談セミナー」も随時実施しています！（初期臨床研修で初めて鹿児島に移り住んだ先輩研修医と話してみたい、〇〇科の指導医の先生から話を聞いてみたい、etc）

先日は、将来の進路として総合診療科を検討されている方と、総合診療科の専門研修プログラムを持つ病院とのオンラインセミナーを実施しました！

どちらのイベントも当協議会の公式Webサイトから随時受け付け中です！（ただし病院見学アシストは見学実施月に応じた申し込み締切あり）皆さまの応募をお待ちしております！



## 協議会主催の令和5年度第1回オンライン合同説明会を開催しました!!

令和5年6月に、県内のすべての基幹型臨床研修病院が参加し、オンライン合同説明会（Zoom）を開催しました。

県内外から数多くの医学生の方に参加していただき、コンシェルジュによる個別相談会と指導医・研修医・病院関係者から病院・研修プログラム内容の説明や研修医生活について説明してもらいました。

今後も令和5年10月と令和6年2月に当協議会主催でオンライン合同説明会を実施する予定です！詳細は決定次第、協議会公式Webサイト等にてご案内しますので、ぜひ御参加ください！！



## 鹿児島大学医学部で対面式の合同説明会を開催しました！

令和5年7月に鹿児島大学医学部鶴陵会館にて、県内のすべての基幹型臨床研修病院が一堂に会する臨床研修病院合同説明会を開催しました！

4年生～6年生まで多くの医学生の方に参加していただき、指導医・研修医・病院関係者から、病院・研修プログラム内容の説明や研修医生活について説明してもらいました。

当協議会ではオンライン合同説明会なども今後開催予定です。今回は残念ながら予定が合わなかったり、遠方で参加できなかった医学生の皆さまも、是非また次の機会にご参加ください！



### 鹿児島県初期臨床研修連絡協議会

（事務局：鹿児島県 ぐらし保健福祉部 医師・看護人材課）

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

e-mail [iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp)

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5928

<https://kagorinsho.jp/>

